

【検証結果のまとめにあたり】

本検証は、令和3年1月30日の時点における知見に基づいて実施しております。検証にあたりましては、関係省庁の資料のほか、専門家による監修、指導をいただき実施いたしました。

今回の検証では、外気温が-12℃まで下がるなか、施設の暖房を全て切った状態で体育館に宿泊するという非常に厳しい環境での実施となりましたが、恵庭市職員、恵庭市立和光小学校の皆様の全面的な御協力をいただき、実際の避難所に近い状況で検証することができました。

新型コロナウイルス感染症がまん延した状況での災害の発生は起こり得るものとして、十分に備えておかなければなりません。同時に、感染拡大を防止するため、訓練や研修を計画どおり進めることができない状況にあり、苦慮されていることと思います。

感染症対策を徹底しつつも感染リスクをゼロにすることはできないという事実を前提として、今、できる対策を進めていくことが求められます。

今回の検証結果は、あくまでも一例となりますが、市町村をはじめ、指定避難所の施設管理者、学校関係者、町内会など、防災に関わる方々の連携の参考として御活用いただければ幸いです。

令和3年2月10日

北海道総務部危機対策局危機対策課